

『SSH フィールドワーク物理』を開催しました

9月25日（月）、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構(QST)六ヶ所研究所において SSH フィールドワーク物理を実施いたしました。今年度の SSH フィールドワーク物理には、1年生9名、2年生8名、計17名が参加しました。

県内最大の国際研究施設において、核融合研究の概要をお聞きし、線形加速器、スーパーコンピュータ等の様々な施設を見学するとともに、磁場・磁力に関する講義、液体窒素を用いた超伝導実験、プラズマボールを用いた蛍光灯の点灯実験、並びにプラスチック、ダイヤモンド、各種金属による熱伝導の差異について実験しました。生徒達は、この施設で行われている研究が、未来のエネルギー供給に大きな変革をもたらすことを充分認識するとともに、スーパーコンピュータによるシミュレーション研究の奥深さを実感したものと思います。

また、太陽のコロナやプロミネンス、黒点観察の準備をしていただいていたのですが、当日は生憎の曇天でしたので、太陽観察はできず生徒達は残念そうにしていました。

今回のフィールドワーク物理では、研究員の方々と交流することで、研究するというものの実際を体験する有意義な機会となりました。国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構(QST)六ヶ所研究所の皆様、本当にありがとうございました。

○活動の様子

